

タクシーのご用命は0120-148-512登山ハイヤーへ

無料

ご自由にお持ちください

箱根観光情報研究会

箱根観光情報新聞

箱根観光情報新聞
2023冬号第一版
令和5年12月16日発行
企画制作
箱根観光情報研究会
協力
箱根モビリティサービス㈱
制作責任者:美馬 哲
発行部数:800部



2022年2月26日午前8時29分撮影

冬の箱根ならではの景観を楽しむ

冬の箱根にお越しになったら、是非ご覧いただきたいのは雪を頂いた富士山だ。箱根と富士山は距離的に近いので、いつでも綺麗な雄姿が拝められそうなのだが、実は、三月中旬から一月中旬は曇りや霧がかかっている日が多く、その姿をなかなか目にする事ができない。また、夏の富士山は雪が付いていないので、白い富士山をご覧になりたい方には冬の箱根から望む富士山がオススメだ。元箱根港、大観山展望台、乙女峠、杓子峠などが富士山眺望の人気のスポットだ。特にお薦めは、元箱根港。富士山を背景に芦ノ湖と平和の鳥居の景観を楽しめる。この時期、晴れた日の朝コンディションが良ければ元箱根港横のスポットから



芦ノ湖の湖面に映った逆さ富士を見ることができ、風の影響で波が立つため、午前八時頃までに現地に行く必要がある。元箱根周辺に宿泊されている方には是非ご覧いただきたい。残念ながら、早朝に元箱根に行けなかった場合でも、元箱根港からは富士山と芦ノ湖、平和の鳥居、海賊船の景観を楽しむことができる。また、大観山展望台まで足を延ばすと広い裾野から立



箱根駅伝ミュージアム

ち上る富士山と手前の芦ノ湖の雄大な景色を見ることができ、お時間のある方は立寄って欲しい。正月の恒例行事の一つに「箱根駅伝」がある。正式には「東京箱根間往復大学駅伝競走」と言う。一九二〇年に世界に通用する長距離ランナーを育成する目的で始まった。長い歴史の中には様々なエピソードやドラマがあり、毎年、テレビの前で釘付けになっている方も多いだろう。中には一月二日には芦ノ湖の往路フィニッシュ付近、三日には大手町のゴール付近で応援しているファンの方もいる人気のイベントだ。本紙編集長も首都圏に勤務していた時には二日は芦ノ湖、三日は大手町で応援していたらしい。目の前で母校の駒澤大学が初優勝した時には本当に感動したと言っていた。その箱根駅伝の往路フィニッシュ横に日本で唯一の

現在の副館長は準備段階からこのミュージアムに携わっていたとのこと、思い入れも強いらしい。取材の際も年末から来春にかけて計画している往路優勝記念トロフィー特別展示のために大学へ協力のお願いをしているとのことだった。往路優勝記念トロフィーは箱根煙宿の「金指ワッド

箱根を代表する宿泊施設である「富士屋ホテル株式会社」が管理運営を行い、貴重な写真や資料、選手の愛用品、往路優勝校に渡される箱根寄木細工の往路優勝記念トロフィーのレプリカなどを展示、数々のエピソードや記録を紹介している。地域貢献と駅伝の情報発信を目的に、元々、富士屋ホテルのレストランがあった建物をミュージアムに改装して二〇〇五年三月に開設したそうだ。





大会選手権を制した女子サッカーチームのユニフォーム（写真左）と、箱根駅伝記念トロフィーのレプリカ（写真右）が、箱根駅伝ミュージアムに展示されている。

クラフト」が一九九七年から製作しているもので、無垢の寄木で作られ、毎年デザインが異なる。
世界に二つとない非常に貴重なものだ。
一月中旬の段階ですでに神奈川県所有の三点の展示が始まっており、下旬からは東洋大学から七点、創価大学から一点の展示が決定。普段は目にする事が出来ない貴重なトロフィーなので、是非ご覧いただきたい企画だ。展示は来年三月末までの予定。
また、ミュージアムにはショップが併設されており、オリジナルグッズのほか大会記念グッズ（限定数）や書籍などを扱っている。
箱根駅伝ミュージアムならではの土産が手に入るだろう。本紙編集長からは駒

澤大学の八木元監督の著書「必ずできる、もっとできる。」がお薦めとコメントがあった。

名店訪問 ボックスバーガー 箱根店

箱根の宮城野に二〇一九年一〇月にオープンしたハンバーガーショップがある。ボックスバーガー宮城野店だ。実は本紙編集長が初めて利用した際に、ハンバーガーの美味しさに感動して、そのまま店長に取材を申し込み、本紙創刊号で記事掲載したと言う本紙とは縁の深いお店だ。

そのボックスバーガーが箱根湯本に新しいお店を開



店したため、四年ぶりに取材させていただいた。

「美味しさとともに、元気の出る体に良い食べ物をご提供する。」のがお店のコンセプト。食材や調理法、バランスにこだわり尽くしたハンバーガーを提供するために、パティには横浜ミートフェアで六度優勝した幻の牛と称される相州牛、有名バーガー数店舗に特注した無添加のバンズ、ベジタブルウォッシュした国産野菜を使用して究極の逸品に仕上げたとのことだ。

箱根湯本本店は七〇年前に置屋として建設された歴史的な建物を改修してオープン。二階は旅館として営業しており、「泊まれるハンバーガー屋」としてもア



ピールしている。

一階はカウンター席と和室の部屋があり、大勢でハンバーガーをいただく場合は和室が楽しそうだ。

なお、ボックスバーガーのボックスは箱根の「箱」の意味。

ウチルカの自販機



行きつけのカフェのオーナーの奥様から「芦之湯のバス停に冷凍のチーズケーキの自販機がある。」との情報提供があった。

芦之湯は古くから温泉場と知られた場所であるが、比較的、人通りの少ないところだ。「なぜ、芦之湯にチーズケーキの自販機か？」と疑問に感じた本紙は早速、現場を確認。

その日の時刻には自販機で仕入れたアイスチーズケーキとタルトを持ち帰っていた。美味い。どうやら、某ネット通販のチーズ

ケーキ部門の人気ランキングで三年連続一位を獲得しているらしい。

早速、横浜市青葉区の「ウチルカ」の店長を取材。驚いたことにいただいた名刺には「金子石油店」と言う社名が。実はカフェ「ウチルカ」の運営している会社の社長はガソリンスタンドを経営していたが、「個性で勝負できる飲食店が羨ましかった。」と言う理由で一〇数年前にレストランを開店。スタッフは子育て中の主婦が多く、主婦ならではのアイデアが沢山あったらしい。オリジナルドレッシングの販売や菓子製造など。二〇二〇年にレストランをカフェに改装。昨年から人気なチーズケーキやタルトを冷凍にして自動販売機での販売を開始。

箱根での展開はガソリンスタンドの繋がりで、箱根のガソリンスタンドの協力



を得て、今年二月に設置したそう。現在は元箱根の二の鳥居横の店舗前でも展開。チーズケーキとタルトはそのままで美味しいが、チーズケーキは少し自然解凍してから、タルトはオーブンで温めても美味しくいただける。

現在、冷凍のお弁当の販売も検討中とスタッフの夢が止まらないお店だった。



お願い

本紙ではお客様にできる限り正確に情報をお伝えするよう努力しておりますが、紙面の都合上、お店の場所や営業日、営業時間などの詳細をお伝え出来ない場合がございます。お手数をおかけしますが、訪問される前にお店や施設のホームページなどで営業日、営業時間などをご確認ください。よろしくお願いいたします。

箱根に観光に来たけれど
「どこを見たらいいかわからない。」
「効率的に観光したいけれど・・・。」
とお悩みのあなた
箱根観光は登山ハイヤーがお薦めです。

今すぐ
0120-148-512(携帯OK)へ

